

## 令和2年度の検討目的及び取組方針

### 1 令和元年度検討成果の概略

- 港湾分科会検討結果を踏まえ、海のルート活用を盛り込むマニュアル改定方針（案）が協議され、改定方針（案）に大筋の合意が得られた。
  - 以下の①～⑤の内容を追記する改定方針（案）
    - ◇ ①災害時物資品目・数量、②海のルート活用の基本的考え方、③海のルート活用パターン of 検討結果、④プッシュ型輸送の受入候補岸壁評価、⑤中突堤旅客ターミナルの拠点運営マニュアル作成

### 2 検討目的及び取組方針

- 海のルート活用を盛り込むマニュアル改定を行うことを令和2年度目標とする。
- そのため、関係主体の役割分担（官官連携、官民連携）の手順の確認や、中突堤旅客ターミナルを集積・配送拠点として活用することを想定したケーススタディ（手順確認型図上訓練）を実施し、その結果を踏まえてマニュアル改定を実施する。
  - 発災当初は公共施設（中突堤）を活用した集積・配送拠点として訓練を実施し、訓練時間で数週間後には、民間物資拠点の立ち上げ、公共施設としての集積・配送拠点のクロージングの手順を検討（※兵庫県・兵庫県倉庫協会等との調整スキームの検討）
  - 「物資調達・輸送調整等支援システム（内閣府）」の運用を検討

表 1 令和2年度の検討スケジュールと検討事項

回	時期・場所	検討概要
第1回 検討会	9月中 場所：神戸市 役所 危機管理セ ンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和2年度の検討目的及び取組方針</li> <li>・ 『中突堤旅客ターミナルにおけるケーススタディ』企画概要</li> <li>・ 海の集積・配送拠点の開設・運営に係る関係主体（官民連携）の役割分担の検討（関係主体の役割分担・手順検討に関する確認事項等）</li> <li>・ 物資調達・輸送調整等支援システムの運用検討について</li> </ul>
（事務局調 整作業）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回検討会意見を踏まえたケーススタディ企画精査</li> <li>・ 海の集積・配送拠点の開設・運営に係る関係主体役割分担等の調整</li> <li>・ ケーススタディのシナリオ設定、中突堤旅客ターミナルゾーニング・動線検討</li> <li>・ 物資調達・輸送調整等支援システムの運用検討</li> </ul>
ケース スタディ	11月中 WEB会議開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Zoom会議等による遠隔での手順確認型図上訓練</li> <li>・ 図上訓練を通じたケーススタディ資料一式の検討</li> </ul>
（事務局調 整作業）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケーススタディ成果・課題のとりまとめ</li> <li>・ マニュアル改定作業</li> </ul>
第2回 検討会	2月中 WEB会議開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケーススタディ成果・課題のとりまとめ結果報告</li> <li>・ 中突堤旅客ターミナルケーススタディ資料一式の報告</li> <li>・ マニュアル改定素案報告、協議</li> </ul>